**音声ガイド：黄金の釈迦大仏と八十八所巡り**

寺の本堂に行こう。本堂の中には、壮大で穏やかな様子の高さ 5 メートルの釈迦牟尼像が安置されている。仏教の教えを築いた釈迦のことだ。この像は、日本中にたくさんある大仏、仏陀の大きな銅像の一つである。

彫像は京都で作られ、1917 年にここで組み立てなおされた。お寺にもともとあった彫像が火事で焼失した後のことだ。実際に、雲仙が宗教的に不安定な長い歴史の中で、満明寺は何度も破壊された。彫像は木造で、すばらしいことに 5 層もの純金で覆われた。1 層では、空気中の硫黄のために、すぐに色褪せてしまう。

外に出て、近くの森に向かう小道を進むと、四国八十八ヶ所ミニチュア版ウォーキングを楽しめる。四国には、有名な僧侶、空海に関連する 88 の寺がある。寺の巡礼は、功徳を得るため、また旅をするきっかけとして人気があった。だが、江戸時代(1603 年 – 1867 年)に旅をするのに制限がされ、旅を妨げることがあった。四国に行けない人（ 2 ヶ月もの長旅ができない人）のために、巡礼の象徴的なものが日本中に作られた。